

幼児期に

心と身体の基本体力を

つける時!!



幼児期の体験は記憶に残るといよりも身体の色となり肉となり性格となり残るといわれるのです。

さてさて新所沢幼稚園の園歌は心と身体の基本体力をつける歌なのです。

身体の運動は?



運動する事、身体を動かす事、だらだらと動かしていいというわけではなく、少し疲れる位、汗をかくくらい身体を動かして、エネルギーを使う、はじめに体力はつれていくのでは? 不思議ですね.....

物であれば、使えば使うほど減るのに、生き生きするのは使わなければいけませんか? 園歌の二番は正に身体を動かして、

元気が生活のエネルギー源!! と

新所沢幼稚園 園歌

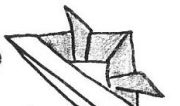
① にこにこふんふん
はらほらわくわく
きもちきらきらかにじのいろ
こころはげんき さくらもげんき

② どたばたくるくる
ぴんぴんのしのし
からだぐんぐんへんしんだ
ともだちげんき あしたもげんき
ともだちげんき あしたもげんき

げんき!!

谷川 俊太郎作詞
谷川 賢作作曲

日本の行事 5月17日 立端午の節句 (5A5H)



男の子の成長を祝いしあかさを願い
祝う行事です

1948年に「こどもの日」と定められ
「子どもの人格を重んじ、子どもの
幸福をほかま」国民の祝日は
なりました。

国旗のこいのぼりも5月の国を
元気にあそびます。

心の運動は?

心を動かさないといい事です。
よね、でも日常的に「心の
運動」をする事とは? そういわれ
ると何をどうしたらいいか? 分から
なくありませんか? 「心を動かすとは、
泣いたり、笑ったり、怒ったり、悲しんだり、喜
んだり、ワクワクしたり、ドキドキしたり、フーッ
たり、ハラハラしたり、ヒーンと静かたり、ホッとしたり

これが心のうんどうなのです。「園歌の二番は
心の体力の心強歌と歌のどす
物事から逃げずに積極的に取り組めよう
とす為にも「心」の基本体力をつけていきましょう

園長通信
しんこ子
労働月誌
H.23.5

